

○見直しの視点の具体例

「神奈川県条例の見直しに関する要綱運用の手引」より主なものを抜粋。

視 点	具 体 例
①必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・その条例が対応しようとする課題は、現在も存在するか。課題が質、量とも変わっていないか。 ・県が取り組む必要がある課題か。 ・仮にその条例が廃止されたと仮定した場合、どのような不都合が生じるか。
②有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・条例が目指すべき効果が上がっているか。県民は効果に不満を感じていないか。 ・責務規定などの訓示的な規定は、県民に理解され、順守されているか。
③効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・規制や助成の程度は必要最低限なものといえるか。 ・無駄な規制や助成を行っていないか。
④基本方針適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・「かながわグランドデザイン」、「新たな行政改革の指針」などにおいて示された県政の方向性に適合しているか。
⑤適法性	<ul style="list-style-type: none"> ・他の自治体が制定する類似の条例について、違憲あるいは違法とする判決が出されていないか。 ・特に権利を制限し、又は義務を課す条例について、規定の内容が十分に明確であるといえるか。